

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

事業年度末の市場価格(時価)により評価する基準を採用している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

該当なし。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位 : 円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	40,053,024	0		40,053,024
第四北越証券預り金	40,639,397	△ 25,269,101		15,370,296
投資有価証券	1,294,541,000	△ 406,418,852	0	888,122,148
小 計	1,375,233,421	△ 431,687,953	0	943,545,468
特定資産				
退職給付引当資産	0	0	0	0
補助金	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	1,375,233,421	△ 431,687,953	0	943,545,468

4. 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

(単位 : 円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	40,053,024	40,053,024	0	0
第四北越証券預り金	15,370,296	15,370,296		
投資有価証券	888,122,148	888,122,148	0	0
小 計	943,545,468	943,545,468	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	0	0	0	0
補助金	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	943,545,468	943,545,468	0	0